

おおがわら

議会だより



第177号

令和7年11月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



どれ、いっpegすっpeg

令和7年9月6日

(南小学校放課後子ども教室)

令和6年度決算状況	②③
決算審査特別委員会質疑	④⑤⑥
議案審議	⑦⑧
町政への提言	⑨
委員会活動	⑳
その後どうなったあの提言	㉒
町民の声	㉔

決算

令和6年度

一般会計

歳入 前年度比10.1%増の
歳出 前年度比9.9%増の

128億
121億

768万9000円
2517万8000円



パーゴラで一休み(パークゴルフ場)



見違えるようになりました(金ヶ瀬小学校)

財政状況の健全化確実に前進

財政健全化判断比率の状況

区 分	令和6年度	(単位:%)		会 計 名	決算比率	(単位:%)	
		早期健全化基準 (国の基準)	財政再生基準 (国の基準)			資金不足比率	経営健全化基準 (国の基準)
実質赤字比率	—	14.52	20.00	地方卸売市場事業特別会計	—	20.00	20.00
連結実質赤字比率	—	19.52	30.00	水道事業企業会計	—	20.00	20.00
実質公債費比率	4.4	25.0	35.0	公共下水道事業企業会計	—	20.00	20.00
将来負担比率	—	350.0					

- 赤字比率等は大河原町は該当しない(赤字なし)
- 実質公債費比率とは町の借入金返済等に充てた大きさを指標化したもの
財政負担をみるための比率
- 将来負担比率とは町の財政規模に対する将来負担すべき負債の割合
- 早期健全化基準を超えると財政運営に余裕がないと判断される

特別会計・企業会計決算

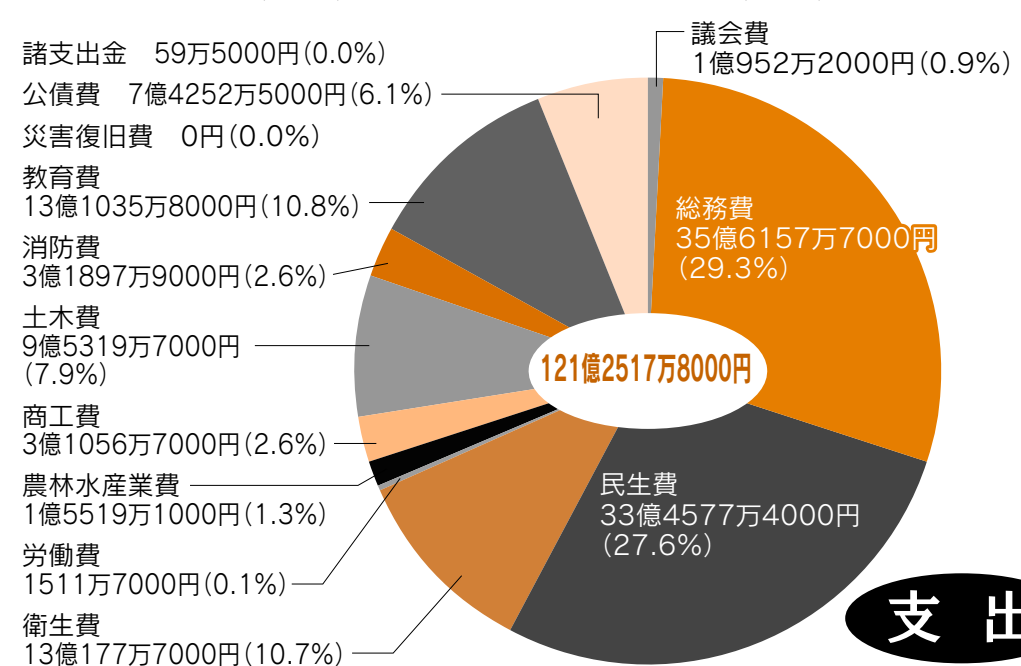
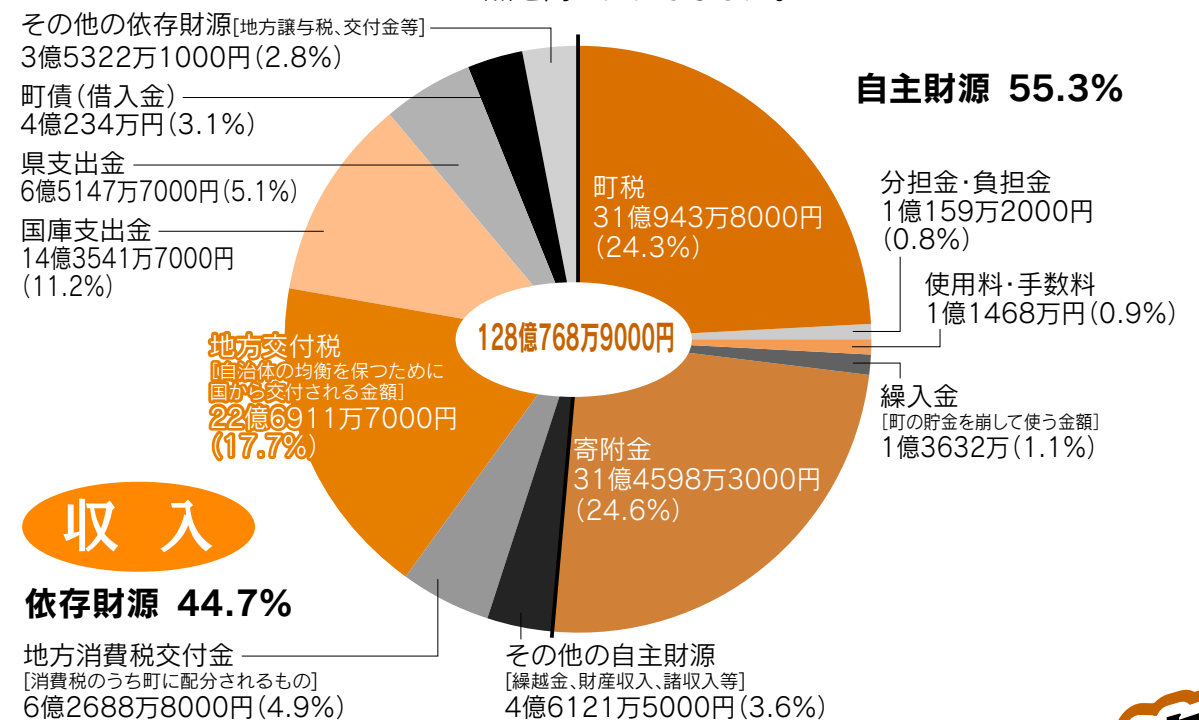
会 計 名		(単位:円)			
		歳 入	(前年度比較)	歳 出	(前年度比較)
後期高齢者医療特別会計		3億6270万7000円	10.5%	3億5941万円	11.7%
国民健康保険特別会計		21億3260万円	▲2.9%	21億271万1000円	▲2.8%
介護保険特別会計		16億2775万7000円	7.2%	15億9736万7000円	7.2%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計		4734万6000円	0.50%	4410万7000円	1.7%
地方卸売市場事業特別会計		316万2000円	50.7%	207万円	41.9%
水道事業企業会計	収益的収支	7億91万3000円	2.5%	6億970万2000円	12.9%
	資本的収支	3000万円	0%	3億2238万8000円	▲5.5%
公共下水道事業 企業会計	収益的収支	8億9351万円	10.9%	6億9283万円	20.3%
	資本的収支	3億4265万3000円	▲54%	6億3774万6000円	▲39%

一般会計

令和7年第4回定例会は、9月3日から9月18日までの16日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和6年度各種会計決算の認定の他19件の議案を慎重に審査し、すべて認定、可決しました。

一般質問では10議員、総括質疑では1議員が発言し、疑問点をいただきました。



町民一人あたり約52万円
使われました

決算審査特別委員会

令和6年度の一般会計及び各種特別会計・企業会計の決算は決算審査特別委員会（委員長：佐藤暁史議員・副委員長：山崎剛議員）で審議しました。

町政全般にわたり、多くの質疑がありました。その中から質疑の一部を掲載します。

決算審査特別委員会は議長（丸山勝利議員）と監査委員（佐久間克明議員）を除く議員で構成されます。

教員の労働環境

今野 智志

問 若い教員の退職が増えているが、児童だけでなく教員のスクールカウンセラー利用者はあるのか。ない場合は相談先はあるのか。

答 教員の利用はない。まずは教頭や校長に相談してほしい。

遊歩道管理

高屋 伸一

問 遊歩道維持管理事業で補修整備を行った場所はどこか。また地権者数を併せて町民への周知徹底を図るべきではないか。

答 整備箇所は大高山遊歩道、天狗森山遊歩道の2箇所。地権者は26名で、今後ホームページ等で広く町民に周知するように取り組む。



大小体育館

遠藤 勇耶

問 屋内運動場自動火災報知設備修繕工事に109万3400円がかかっている。修繕工事にしては高額だが、修繕内容は。

答 設備の空気管に不具合が見つかり修繕した。足場を組む必要があり高額となった。

WiFi整備

佐藤 暁史

問 モバイルWiFi通信料だが、不用額があるということは使っていないルーターが在庫にあるということか。余分な在庫があるなら、子ども家庭課など他の課に貸し出して児童館などのWiFi整備ができるのではないか。

答 使わない機器がある。他の課に貸すことは可能で何ら差し支えない。



公民館備品購入

中村 淳

問 図書購入費のみとなっているが金ヶ瀬公民館土足化用備品に体育館用フロアマットの購入等の検討は無いのか。

答 中央公民館等は、土足入館可能であるが、金ヶ瀬公民館は何故スリッパ履きかという問いは受けている。土足にした場合の清掃費用等と利便性を考慮して土足利用を検討している。

一番使われているサイトは

大沼 忠弘

問 ふるさと納税ポータルサイト運用状況は。

答 8サイト追加して14サイトで運用、楽天からの申し込みが全体の47〜48%を占めた。

在宅酸素療法者

高橋 芳男

問 在宅酸素療法者酸素濃縮器の利用について助成をしているが、停電時はこの機械が停止してしまう。停電時の対策が必要。

答 停電時の対応は家庭ごとに対応しているが、万が一の対策を講じていく。



保健センター

岡崎 隆

問 保健センターの屋上防水改修工事に約500万円の支出があるが、役場裏の土地購入時に、保健センターも含めた児童のための複合施設建設が計画されるはずなのに、多額の改修費用を支出するのは矛盾があるのではないか。

答 子ども家庭センターと保健センターの機能を含めた施設を建設するが、具体的に何年度に建設を始めるかは決まっていない。

下水道管の劣化

山崎 剛

問 古くなった下水道管の腐食や損傷はなかったのか、特に深刻な劣化などはなかったのか、補修や交換といった対策事例はあったのか。

答 埋設されている公共下水道の管路の管理は的確に行っており、腐食や損傷劣化などはないが、これからも安全で安心な事業を遂行していく。

デマンドタクシー

万波 孝子

問 デマンド型乗り合いタクシー運行で課題となっているのは何か。昼過ぎは運転手の昼食のためタクシー1台しか運行していないため、利用できない人がいる。委託料を増やし改善していくべきでないか。

答 利用者は増加しているが苦情がないことから課題はないと考える。現状を確認して対応する。

問

上谷2号樋門応急復旧工事について1300万円の支出がある。次年度の本工事にむけて被害拡大は懸念されないか。本工事の時期についても伺う。

答

7年度中の本工事、完成に向けて応急復旧工事は滞りなく施工されており、本工事にむけた準備を進めている。



問

コンビニ収納の利用は何件あったのか。

答

令和6年度3万1212件の利用があった。

森林環境譲与税基金

問

森林環境譲与税基金が令和6年度末現在高1684万円となっている。町ホームページに森林環境譲与税活用事業計画が示されているが、町として基金の活用と今後の森林整備についての考えを伺う。

答

今後、公共施設への木材利用等を行うとともに、森林の整備についても重要なことと考えていることから、意向調査を行いながら計画に沿って森林の管理を行っていきたい。



決算審査特別委員会の
委員会映像はこちら

総括質疑

問

国民健康保険令和6年度末基金残高は3億5274万円。国保税を払うことが困難な町民のために基金の一部を取り崩して税の引き下げに充てることは検討したのか。

答

国保制度の改正や加入者の減少により、令和5年度以降毎年7000万円程度取り崩し10年度には残高の枯渇が見込まれ引き下げは難しい。急激な国保税率の上昇を抑えるため令和8年度の税率改正を検討している。

問

世代交流いきいきプラザは子育て中心の施設に移行している。世代間交流施設の機能はなくなったのか。

答

貸館として幅広い年代に利用されている。子ども家庭センターや保健センターの機能を有する複合型施設整備を進める中で施設名称変更も併せて検討する。

総括質疑とは

議案の審査を委員会に付託して審査する場合、その議案に対する総括的な質疑を行うこと。詳細な個別質疑は委員会で行う。

9月会議

可決

議案12件

報告4件

同意2件

追加議案1件

認定8件

主な補正項目

議案第54号 令和7年度大河原町一般会計補正予算（第3号）

今回の議案では、令和7年度一般会計及び各種特別会計の補正予算を含む12議案の他に同意、報告、認定、追加議案について審議を行った。

●商品券取扱店管理・換金等業務委託料 1億2100万円

町民の生活を支援するとともに、地域における消費を喚起し地域経済の振興を図るため、全住民及び町内取扱店を対象とした「おおがわら商品券（おおがわら暮らし・ほっこり商品券事業）」を実施する。

【額面…一人当たり5000円 使用期間…12月1日から令和8年2月1日まで】

●ふるさと寄附金業務委託料 2億3900万円

●ふるさと寄附金システム利用手数料 5280万円

●ふるさと寄附金代理納付等手数料 192万円

本年度の制度改正、寄付動向及び7年度実績を勘案し、現時点で見込まれる寄附者への返礼品及び業務委託、各種手数料に關し所要の補正を行うもの。

●ふるさと未来基金積立 15億円

ふるさと寄附金の積立を行うもの。

大河原町を応援するために寄せられた寄附金を適正に管理し、寄付者の想いを反映した事業を展開することで未来へ続く魅力的なまちづくりを推進するための基金。

●予防接種委託料 ▲720万円

新型コロナウイルス接種自己負担額の変更に伴い委託料を減額する。自己負担額は3000円から7000円に変更。

●普通財産取得費 2583万円

広表地区内の土地開発基金を活用し、公共用地として取得していた土地について、社会変化や公共施設管理計画の基本方針なども勘案し、買い戻しを行い今後処分するもの。



●産後ケア事業委託料 110万円

産後ケアサービス利用者が増加し、予算不足見込みのため増額する。県内施設を広域的に利用することができるためサービスの認知度、アクセスが高まってきており、今後も増加が見込まれる。

同意第4号 教育委員会教育長の任命

鈴木 洋氏の再任

同意第5号 固定資産評価審査委員会委員の選任

原田 眞氏の再任

条例の全部改正

●大河原町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の全部改正について

今回の改正の主な変更点は、し尿収集方法について。従来委託制で町が収集業者と委託契約を結び、利用者が事業者に対して汲み取り券を購入して支払いをしていたものを、許可制に改正し利用者が直接収集業者に現金で支払いを行うとするもの。近隣自治体の多くも同様の許可制でし尿の汲み取りを行っている。



現金の取り扱いに

条例の一部改正

●職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

●大河原町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

●大河原町給水条例及び大河原町下水道条例の一部改正について

追加議案第61号

一般会計補正予算(第4号)

●総合体育館外壁改修工事 480万円
外壁改修工事に際し、施工業者で改めて調査したところアスベストの含有が確認されたため、封じ込める工事を追加するもの。

議決責任の明確化

討論(認定第1号)

賛成 山崎 剛

反対 万波 孝子

賛成 山崎 剛
歳出では原油価格・物価高騰支援として、定額減税調整給付や中小企業者等への支援金を支給。白石川右岸河川敷等整備はパークゴルフ場の環境整備を行った。教育環境整備として特別教室の空調整備や、金ケ瀬小学校の校舎外壁改修工事などを実施。歳入はふるさと納税が大幅な増額。財政健全化判断比率は早期健全化基準の範囲内。にぎわい交流拠点施設整備は住民の要望を可能な限り取り入れることを期待する。

反対 万波 孝子
令和10年4月オープン予定の賑わい交流施設計画は、施設整備費約18億円、維持管理運営費約22億円(令和24年度まで)。年間の支出は1億3000万円となる。25年度以降も続く。このように多額の税金が投入される。議会では可決されているが住民の認知度は不十分。スケジュールを見直し先延ばししてでも現地での説明や意見交換会を開き説明責任を果たすこと。計画の可否の最終判断は、町民に委ねるべきである。

令和7年第4回定例会(9月会議) 議案等審議結果

議 案	結 果 (賛成：反対)	議 員 別 表 決 結 果 一 覧												
		今野 智志	高屋 伸一	遠藤 勇耶	佐藤 曉史	中村 淳	佐久間 克明	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	山崎 剛	万波 孝子	秋山 昇	須藤 慎
認定第1号 令和6年度大河原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定(10:4)	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○

《表決の区分》 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投：無記名投票(人事案件など)

討論とは
議題に対して賛成または反対の意見を表明することで、意見に反対する者及び賛否の意思を決めていない者を自己の意見に賛同させること。

一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は10人の議員が行いました。

高橋 芳男P⑩

- 行政窓口にスクリーンの導入を
- 子どもの不慮の事故を防ごう
- 緊急銃猟の導入を

今野 智志P⑪

- 地域おこし協力隊の制度の導入について
- 賑わい交流拠点施設について
- 政治資金パーティー参加と公用車使用について

万波 孝子P⑫

- 賑わい交流拠点施設の計画について
- 災害から町民を守るために
- 生活困窮者を対象にエアコン設置等に補助を

大沼 忠弘P⑬

- 施政方針の進捗度について

佐藤 曉史P⑭

- 青少年の国際交流などについて
- 小中学生をとりまく環境などについて
- 本町のSNS活用について

遠藤 勇耶P⑮

- 小・中学校の水泳授業における安全性と教育環境改善について
- ※第三の居場所「おおがわらきち」の開設に向けた町の関わりについて

中村 淳P⑯

- 災害時の避難所事情

佐久間 克明P⑰

- 雪さ対策について

高屋 伸一P⑱

- 各学校の運動施設・ヒルズはねっこアリーナのエアコン設備の整備・導入計画について
- ※プールサイドの高温対策について

佐藤 巖P⑲

- 熱中症対策について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。
内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)
各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



一般質問

行政窓口サービス

字幕スクリーンの導入を

必要性を検討する



高橋 芳男



問 静岡県御殿場市では今年度、市役所窓口などで会話を字幕表示するスクリーンを導入した。134言語に対応し、翻訳表示の他、画像も表示することができ、障がい者手帳の写真を写せるように設定されている。聞き間違い等のずれ違いを防止し、円滑なコミュニケーションを実現するため、スクリーンの導入を検討するべきだと思うがどうか。

町長 高齢の方や聴覚障害の方、外国人の方とのコミュニケーションは、筆談や翻訳アプリを使用し、特に問題がない、導入は考えていない。今後は窓口の状況を踏まえ、検討したいと思う。

子どもの不慮の事故を防ごう

問 窒息や転落などにより、14歳以下の子どもが毎年約200人亡くなっている。名古屋市では子どもが安易に窓を開けるのを防ぐ補助錠を子育て世帯に配布し、子ども家庭庁は「子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック」での啓発を進めている。わが町も具体的な対策をするべきだと思うが、どうか。

町長 本町では、産婦・新生児訪問や子育て相談等の際に、リーフレットを用いた啓蒙しており、アプリでも子ども家庭庁の事故「防止ハンドブック」を閲覧できる環境も整えている。今後も事故の未然防止に努める。



スクリーンの設置で窓口対応をスムーズに

緊急銃狼の導入

環境省によると、クマの被害は2023年度に過去最多の219人に上った。被害を最小限に抑えるため、緊急銃狼について伺う。

問 緊急銃狼の導入は認められるために4つの条件を満たす必要があるが、万が一、人の日常生活圏まで侵入されたとき銃狼

が可能になる。今すぐ導入ではなく、現状の調査や導入の検討を進めるべきだが、どうか。

町長 これまでも猟友会や地元農業者と連携して対策を実施している。今後も引き続き調査・対策を実施する。緊急銃狼についても関係機関との連携を図り、準備を進める。

制度導入の意思は

否定はしないが懸念がある



仙南では大河原だけが未導入

問 地域おこし協力隊とは、都市部から移住した人が、農業や観光、特産物の開発などの幅広い活動を通じて地域活性化を目指す国の制度。活動費は国から支給される。

町長 将来の人口減少での各分野の担い手不足にも期待でき、仙南で未導入は大河原

のみだが検討は。

町長 地域ニーズとの不一致、継続性や成果など懸念がある。元プロスポーツ選手を受け入れ、子供達に指導しながら就農している例もある。今後控える部活の地域移行問題の指導者不足にも期待できるのではないか。

町長 否定しないが、他にもいろんな政策をしており、その中の一つとしては理解できるもの。

賑わい交流拠点施設

問 住民アンケートを実施したが入札業者の締切スケジュールを見て意見が十分に反映されるのか非常に不透明。形だけの意見募集に終われば町民の信頼も損ねるが、どの様に反映させるのか。スケジュールの整合性や具体的仕組みは、地域整備集計ができた後、事業者に提供し考慮してもらう。

町長 この事業は選挙の公約である。合意形成に対しては見解が違う。7割が賛成しモデルプランにも指摘は無かった。変更は必要ないと考える。

政治資金パーティー参加と公用車使用について

問 参加者、公用車の利用と参加費

町長 副町長が代理で参加し、公用車は規則に基づき適切に

使用。参加費は町長個人の私費。

問 参加費は町長のポケットマネーを出して参加したのであれば私用になると考える。私人の政治活動は町の公務と性質が異なるが、それを副町長に渡し公務として公用車を使い行かせたのか。

町長 町長は政治家としての働きかけなどの公務活動は公務と認識している。

問 仮に現職の衆議院議員ならばそれも理解できる。しかし前職であり裏金問題の疑いのあった私人の政治資金パーティーに参加したこと違和感を覚える。町としての政治的中立性は。

町長 政府の要職をしていた。知識や情報があり中立性を損なうことにはならない。

地域おこし協力隊



今野 智志



一般質問

賑わい交流拠点施設

説明責任を十分に果たせ

施設内容決定後に開催予定



万波 孝子



1等最も適した機器の設置等に向け検討する。

問 末広・保料地区の洪水時の指定避難所はどこか。

町長 洪水時は行政区を単位としていない。南小と東部屋内運動場が有効と考えている。

エアコン設置に補助を

熱中症等で救急搬送された町民の中には、エアコンなし、エアコン

ンはあるが使用していないケースもあった。

問 物価高騰でエアコン購入や修理を躊躇している町民の実態把握はしているか。

町長 調査はしていない。エアコンで困った声は届いてない。エアコンは命綱。

問 生活困窮者を対象に購入や修理に補助を検討できないか。

町長 現在は補助の考えはない。



令和10年4月オープンに向けて工事しているが

賑わい交流拠点施設計画は約40億円（24年度まで）の税金を投入する大型事業である。

問 施設利用者数は年間3万人を想定し町内40%町外60%を見込んでいる多くの町民が望む施設になっていないと考えるが。

町長 町内利用者の割合が少ないのは魅力ある施設であるからこそ町外利用者数が増加し利用率も上がる

と考える。町民が喜ぶ施設整備を重視する。

問 住民に対する説明責任は十分果たしているとは思えない。再三求めてきた現地での説明や公聴会を開き、直接意見を聴く場を補償すべき。

町長 先延ばしはできない。参画事業者の募集を開始しているが選定され公園施設の内容や維持管理方法等が決定したら、再度

説明会を開催する予定。

問 猛暑が続く野外での活動の自粛が言われている。施設整備計画全体の見直しが必要ではないか。

町長 遊具広場の一部ツ広場が屋根付きであり安全に活動することは可能。屋内遊戯施設の代替え施設として計画している。

災害対策に力を

問 災害避難所に指定されている学校体育館等にエアコン設置を再三求めてきたが、国の補助を活用し早急に年次計画を立てて具体化していくべき。

町長 断熱化の改修工事などにも必要となり、大きな費用を要することからエアコン設置でなく、移動設置可能なスポットクーラ

約111億を想定

ほ場整備の総事業費は



持続的農業生産者維持に課題

問 総合体育館の無償貸し出しだった用具が有料化になった、背景、利用状況に変化は。

町長 用具が古くなり、新しくしてほしいとの要望が多かったので指定管理者で用具を一新。一般開放利用

者が増加していることから一定の理解をいただけていると認識。

問 放課後児童クラブの防犯対策として緊急時における対応の強化の具体的内容は。

町長 児童クラブ3ヶ所、桜保育所に非常通報装置を設置。豪雨や台風に備えた白石川の河川敷支障木伐採及び中州撤去など、関係機関への働きかけを継続するとともに、連携して事業を進めるとあるが進捗は。

町長 大河原リバーパーク付近の白石

川の支障木伐採や、堆積土砂の撤去を実施する予定。

問 農業生産者へ町独自の新たな補助等の拡充の考えは。

町長 転作作物を生産している生産者に、経営所得安定対策等を目的に補助を行っているが、今年度より新たにネギやキャベツなどの品目を追加し支援の拡充を図っている。今後は農業者のご意見を伺いながら支援内容を検討していく。

問 ほ場整備にかかるとおおよその費用、整備済み分、未整備分合わせて計画終了までの総額はどれぐらいか。

町長 平成9年から16年にかけて整備済みの金ヶ瀬地区、事業費が12億1100万円。未整備地区は「金ヶ瀬西地区」、「大河原

西地区」、「大谷地区大河南中部地区」があり、4地区を合わせた総事業費は99億円を想定、整備済みを合わせた5地区では111億1100万円となる。町の負担としては事業費の約13%が見込まれるものとなっている。

問 農産物のブランド化を確実に推進するために今後具体的にどのような方針で取り組んでいくのか。

町長 本町の特産物を対象に生産者や企業、観光物産協会と連携し、質の良さや希少性をアピールする形で認知度を上げ、ブランド化を図る。各種イベントでのPR、学校給食提供やふるさと納税返礼品への活用等を通じて6次産業化につながるブランド化に取り組んでいく。

施政方針



大沼 忠弘



一般質問

青少年国際交流

町として応援していくべき

多様な形で支援を進める



佐藤 暁史



町長 多様な文化に触れ、交流を経験することは国際社会の一員として非常に大切。小中学生を取り巻く環境について

町長 検討を進めている。実現できるように努めていく。
問 インスタグラムでフォトコンテストに取り組む考えは。フォトコンテストは大変有益と考えている。魅力ある企画に取り組む。

町長 長期休暇中の子どもで食事提供することは、子育て支援になるのではないかと検討する。

問 大プール脇の駐車場は工事の計画は。

町長 具体的な計画はないが、今回の整備が安全確保を最優先としたことを理解願う。

SNS活用について

問 産業高校生徒とコラボして、町独自のハッシュタグ作成を提案したがその後検討はしたのか。



国際交流で子ども達の可能性を広げよう

グローバル化が進む社会において、多文化の理解や国際感覚を育むことは重要。国際交流は経験と学びを得ると同時に、自国の文化への理解を深めるきっかけになる。

問 本町における国際交流の現状は。

教育長 令和元年度から5年度まで上海と交流を行った。

問 今後独自の事業も推進していくべきではないか。

教育長 積極的に進めていくべきと考ええる。

問 日独スポーツ少年団同時交流に、本町の高校生が県代表として参加した。町で把握していたか。

町長 町で把握していた。

問 このことをSNSで発信するなど、町全体で応援する空気作りも子ども達の挑戦を支援するうえで大事ではないか。

教育長 SNSでの発信はこれから検討していく。

問 県が実施している台湾との学校間交流に参加していくべきではないか。

教育長 台湾との交流は積極的に検討を進めている。

問 台湾との交流の費用は参加者の全額負担か。

教育長 児童、保護者の負担にならないように考えている。



老朽化が進むプール

問 令和5年度、6年度の授業計画回数と、実施回数は。

教育長 令和5年度は、小学校は9時間、中学校6・3時間。令和6年度は小学校7・6時間、中学校6時間。猛暑の影響はあったが、ほぼ目安の時数を実施できた。

問 熱中症や、けがの発生件数は。

教育長 令和7年度の熱中症は0人、すり傷などは8件発生した。

問 教員の負担に對する町の認識は。

教育長 指導や維持管理における負担については、他教科に比べて負担があると認識

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

問 今後必要となる耐用年数の見込みとプールの改修・更新費用の想定は。

教育長 耐用年数は30年だが、1番新しい大中で35年。一番古い大中で58年が経過している。今後も同規模以上の維持管理費が必要になると想定する。

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

し、維持管理の一部を管理業者をお願いすることは可能か問い合わせたが、出来ないとの回答だった。

問 町内の小中学校の年間維持管理費は。

教育長 5校合計で約650万円となっている。

問 今後必要となる耐用年数の見込みとプールの改修・更新費用の想定は。

教育長 耐用年数は30年だが、1番新しい大中で35年。一番古い大中で58年が経過している。今後も同規模以上の維持管理費が必要になると想定する。

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

問 今後必要となる耐用年数の見込みとプールの改修・更新費用の想定は。

教育長 耐用年数は30年だが、1番新しい大中で35年。一番古い大中で58年が経過している。今後も同規模以上の維持管理費が必要になると想定する。

町長 検討を進めている。実現できるように努めていく。
問 インスタグラムでフォトコンテストに取り組む考えは。フォトコンテストは大変有益と考えている。魅力ある企画に取り組む。

町長 具体的な計画はないが、今回の整備が安全確保を最優先としたことを理解願う。

問 産業高校生徒とコラボして、町独自のハッシュタグ作成を提案したがその後検討はしたのか。

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

問 今後必要となる耐用年数の見込みとプールの改修・更新費用の想定は。

教育長 耐用年数は30年だが、1番新しい大中で35年。一番古い大中で58年が経過している。今後も同規模以上の維持管理費が必要になると想定する。

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

問 今後必要となる耐用年数の見込みとプールの改修・更新費用の想定は。

教育長 耐用年数は30年だが、1番新しい大中で35年。一番古い大中で58年が経過している。今後も同規模以上の維持管理費が必要になると想定する。

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

問 今後必要となる耐用年数の見込みとプールの改修・更新費用の想定は。

外部施設の活用も検討を

今後の授業の在り方を議論する

町内小中学校の老朽化した屋外プールでの水泳授業は、炎天下での安全性や教員の負担が課題となっている。近隣市町で屋内プールでの授業も進んでおり、本町においても児童生

徒の安全確保と教育環境改善の観点から、学校プールの維持管理費と外部施設の活用委託費を、比較検討を進める必要があると考え、質問する。

問 教員の負担に對する町の認識は。

教育長 指導や維持管理における負担については、他教科に比べて負担があると認識

問 屋内プールの活用によって通年授業が実施できた場合、泳力向上や授業の安定性は。

教育長 屋内プールにおいて、スイミングスクール等の指導を受けられる場合には、

水泳授業



遠藤 勇耶



一般質問

災害対策

避難所の空調計画は

優先順位見極め慎重に



中村 淳



を行ったか伺う。

町長 避難所設置をした自治体に確認すると一番は暑さ対策。

本町では、大型扇風機や災害協定を結んでいる法人からの冷房機器のレンタル設置、備蓄している熱中症対策グッズの活用を想定している。

問 沿岸部自治体からの避難者受入の経路、駐車場、体制及び想定される時間軸

をどうにか伺う。

のシミュレートは、行っているか伺う。

町長 原子力災害時の石巻市からの避難者受入は行うが、県が想定していないので、他の自治体からの避難シミュレートは行っていない。

問 避難所指定の町内施設数、空調設備の設置状況はどのようになっているか。

また、近隣市町と比較してどうか伺う。

町長 本町では、地震及び風水害等の災害を想定。15箇所の公共施設中空調設置は、7箇所。各小中学校の体育館、総合体育館、東部屋内運動場、大河原産業高校体育館は未設置。近隣でも白石市のホワイトキューブ、柴田町総合体育館以外は未設置。

問 来年度の予算編成に臨む時期になつていと思うが、

避難所指定の体育館に空調設置をする予定があるかどうか伺う。

町長 体育館への空調設置については大きな費用を要する。優先順位等を見極めながら、慎重に検討していく。

問 文科省の資料に全国平均18%、宮城県5%とあり、出遅れている訳ではないが、柴田町の学校体育館は空調設置100%と在る。これを踏まえてどのように考えるか。

問 柴田町同様移動式を除けば県内の空調設置はOと認識しているが、空調は必須。しかし、大中の体育館だけでも6750万円の町負担。経費が大きいので順次検討は同じ。

総務課長 柴田町に確認したところスポーツクーラーによる対応。本町でも順次対応していく検討をしている。小中学校の件なので教育長にも伺う。

教育長 柴田町同様移動式を除けば県内の空調設置はOと認識しているが、空調は必須。しかし、大中の体育館だけでも6750万円の町負担。経費が大きいので順次検討は同じ。



まずは、東部屋内運動場へのエアコン設置から

暑さ対策

屋内子どもの遊び場を

ハードルは高い



完全予約制で親子が年中楽しめる名取市の施設

桜の季節が終わると直ぐに異常な暑さが続いている。危険を感じる日が増え、暑さの間が長くなっている。厚生労働省では熱中症の重篤化を防止するため、事業所に対して職

場における熱中症対策の義務化が施行された。職員の働く環境整備も大切だが、今回は町施設や町民向け環境について考えや方向性を伺う。

問 町は屋内遊び場を求める要望をどう受け止めているのか。

教育長 健全育成や保護者の安心につながる大切な要望であると認識している。世代交流いきいきプラザ内子育て支援センター、上谷児童館、大河原児童センターを活用しながら対応している。

問 町の現状の取組みは理解できるのか。また来たいと思う楽しさはあるのか。イオンモール名取に施設面積150平方メートルの屋内遊具施設が令和7年4月から10年間程度を想定し運用さ

れた。当初施設整備を検討したが建物だけで3億円から4億円の整備費用がかかるため実現に至らなかった。本町においても同様であると考える。しかし本町にもフォルテがある。テナントとして借り上げ、民間へ管理業務委託すると可能性はあるのではない。

民間事業所より「子育て環境の整備」という条件付きで町に寄付できるなら検討したい旨の話もある。大河原商圏を大きくけん引する場所での官民連携の手法を取れたら、町内はもとより仙台圏県南地域の親子間交流にもなり得るのではない。

更には、施設に宮城県産、地元産木材を使用すれば「森林環境譲与税」の活用も可能ではないか。

町長 商業施設を活用しての遊び場の提供や寄附の受入れ、

木材の活用について、具体的な提案や相談は受けていないため検討に至っていない。具体的な提案があればぜひ伺う。

問 近年、自治体での整備維持管理費減、天候に左右されない、経費の固定化や安全面の観点から民間施設への外部委託も増えているが、本町では検討したことがあるか。

教育長 今後、水泳指導の在り方や、外部委託し経費等についても議論していきたいと考える。



佐久間克明

一般質問



高屋 伸一

エアコン設置を急げ

スポットクーラー等で対応する

屋内運動施設

屋上防水等の改修工事が完了後、施設の長寿命化も見据えた大規模改修の際に設置ができるよう検討を進めており、スポーツ振興くじ助成金やその他有利な補助金の活用も視野に入れながら回収を行っている。

ていく。近年の猛暑により熱中症のリスクが高まっており学校体育館にもエアコン設置は望ましいと認識している。

問

近年の猛暑により、教育施設の質的向上と室内競技の練習環境を整備し、技術の向上の支援を目的として各学校の現状は、

町長

現在、学校の体育館にはエアコンは設置されていないものである。これまでも設置への検討は行われてきたところだが、課題として国の交付金を活用することを考慮しても大きな費用を要

問

することなどから、いまだ実現に至っていない。

町長

今後のエアコン機器の新規導入計画を伺う。

町長

今後については、国県及び他自治体と情報交換を行うとともに、先行事例であるスポットクーラーや冷風機導入も念頭に、学校現場も含めて検討を重ねていきたい。

問

防災拠点として機能する避難所や地域防災の中核を担う避難施設の熱中症対策は、

町長

大型扇風機での対応やスポットクーラーなどの冷房用備品をレンタルしての設置、ネッククーラーなどの熱中症対策グッズの活用などを想定している。さらに、状況に応じて空調設備のある施設の利用など、柔

問

軟に対応していく。ヒルズはねっこアリーナの熱中症室内環境対策について伺う。

町長

ヒルズはねっこアリーナについては平時の運動施設に加え、災害時には避難所として利用することから、暑さ対策は早期に取り組むべき課題と認識している。エアコン設置については、現在実施している外壁・



空調のない体育館

問

異常な暑さ、熱中症アラートが頻繁に発表される今日、町として熱中症対策をどう考えているのか伺う。

町長

熱中症は、重症化する死に至る可能性のある重篤な病気ですが、適切な予防対策を行うことで、発症を防ぐことが可能になる。そのため、町民自らが予防行動ができるようになることが重要であると考え、熱中症予防の行動のポイントや熱中症が疑われるときの対応、クーリングシェクターの開設等について、毎年「広

購入への助成を望む



問

高齢者や障がい者の家庭を対象に熱中症防止対策として命を守るために、エアコン購入助成金の支給を行うべきと考えるが町長の考えを伺う。

町長

高齢者や障がい者の家庭を対象とした、地域包括センターや町社会福祉協議会が行う巡回訪問や窓口相談では、エアコン購入に対する助成の要

望がない状況と認識している。エアコン購入の助成については、高齢者や障がい者の家庭において、どのような家庭を対象にするべきか、生活実態、要望等を把握したうえで制度設計を図っていくが、現状、助成を必要とする対象が不明確なので、エアコン購入助成の考えはない。熱中症対策としては、家庭内だけではなく屋外でも起こることから、生活全般の過ごし方、熱中症予防の声掛け、支援体制を地域全体で進めていく必要があると捉えている。

エアコン購入に助成金を

助成の要望はない

熱中症対策



佐藤 巖

委員会活動

総務産業常任委員会は7月16日・30日に、文教厚生常任委員会は7月9日に、それぞれの内容について調査を実施。

総務産業常任委員会

調査テーマ

コメ農業の現状・担い手状況の確認について・ほ場整備の現状について
町の農業の現状

- 耕地面積…575ha（町面積の約23％）うち水田…約453ha
- 水稲作付面積…約257ha、残り約196haは大豆・麦などの転作
- 農業経営体数…392（平成17年）から182（令和2年）まで減少
- 主食用米生産量…1377t（令和6年）、10年前比13％減少
- 農家からの主な声
 - J Aの仕入数量に制限、販路が乏しくP R・販売拠点が必要
 - スマート農業（ドローン散布・ICT農機など）は小規模導入段階
 - 他自治体の余剰作物買い取り制度は未検討
 - 担い手不足・後継者難、法人化しても人材確保が課題
 - 暗渠など排水対策の支援が必要
 - 規模拡大には70～100PSのトラクタ等で約200万円の投資負担
 - 市場で2000円／5kg程度の米価格では採算が厳しい



文教厚生常任委員会

調査テーマ

駅前図書館の現状について

施設と蔵書

- 面積…本館368・9㎡＋「絵本と学びのへや」198・5㎡＝567・4㎡
- 蔵書…5万5512点（図書5万3736冊／AV1776点）
- 設備…視聴用TV3台、仙南日日新聞電子データ検索PC1台、放送大学教材視聴PC1台、館内蔵書検索PC2台

運営目標

- 図書蔵書数…町民1人当たり2・3冊（県内平均2・63冊）
- 年間貸出数…町民1人当たり3・3冊（県内平均3・73冊）

主な事業

- 子どもの読書活動（児童図書・絵本の選定確保／お話し会・読み聞かせ）
- 学校・公民館図書室・いきいきプラザ等と連携
- 期限を過ぎた雑誌の希望者への無償配布、新小学1年生と保護者への利用案内・カード登録
- ボランティア活動…読み聞かせ、点訳「てんとうむし」、朗読「糸でんわ」

委員の質疑

- Q スペースが狭く感じる。
- A 計画書庫がなく、一部蔵書を職員休憩室で保管。バックヤード確保が課題。
- Q 学校図書室との連携は。
- A 情報交換会、学校予算で買えない資料の確認、除斥本の提供など。
- Q 汚損本の弁償額は。
- A 高額でも3000円台
- Q 返却督促は。
- A 1か月で電話、3か月で自宅訪問を実施している。



ほ場整備の現況

- 完了…金ヶ瀬92・9ha
- 計画・申請中…286・8ha（例…大谷25ha／大河原中部89haほか）
- 事業費負担…国50％／県27・5％／町10％／地権者12・5％（促進費交付で軽減あり）
- 期間目安…調査約4年＋工事約8年＝計10年以上
- 視察結果…区画整理・農道・用排水の整備により機械作業効率や営農条件の改善を確認

【委員会まとめ】

- 販路開拓とブランド化を町全体のプロジェクトで推進
- 新規就農者の募集強化、企業マッチングや町独自の補助の柔軟運用を提案
- 事業のスピード感向上と、現場の声を踏まえた県への報告体制整備が必要



【委員会まとめ】

- 開館当初からスペースの確保は課題があった。現状、蔵書を補完する場所がなく、管理できていない。バックヤードが必要。
- 駅前オーガ内の空きスペースなどの情報収集に努め、執行部内でスペース活用についての協議が必要。
- バックヤードが確保できれば本館スペースの拡張が可能で、猛暑時のクーリングシェルトとしての活用も検討。
- 町民の休憩や憩いの場、読書離れの改善への取り組みなど、図書館の果たす役割は大きい。生涯学習の拠点として引き続き運営目標に取り組むことを望む。

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

歯と口腔の健康条例



解決

提言

歯と口腔の健康は全身の健康とつながると言われる。成人期の行政が関わる歯科健康活動が少ない事などから、関係認識の普及啓発のために条例制定の提言がなされた。

議員の提言
(一般質問)
令和6年3月

令和7年
11月現在

追跡結果

令和7年6月大河原町「歯と口腔の健康づくり推進条例」が制定。これにより生涯を通じた定期的な口腔管理による健康の保持増進、機能の維持向上を図っていく。

賑わい交流施設



一歩前進

提言

町民への説明責任を果たすべきとたびたび提言がなされてきた。さらなる説明会や住民の声を聞く懇談会などの継続的な開催を求めている。

議員の提言
(一般質問)
令和6年度～
令和7年度

令和7年
11月現在

追跡結果

第2回目のアンケート調査を町ホームページ、学校配布、特定世帯への郵送などで実施した。また、モデルプラン確定後に説明会を再度開催する予定。

こんな町に住みたい



大河原小学校
すが りょうま
管原 湊也さん



大河原小学校
わたなべ あな
渡邊 愛奈さん

ぼくは夏でもずっと楽しく遊べる施設ができるよりよい町にしたいと思います。

私は体が不自由でも過ごしやすいなれば、今よりもっと良い町にしたいと思います。

年々暑さがきびしくなり、夏でも遊べる施設があると体力も向上し楽しく過ごせると思います。室内のアスレチックで体を動かしたり、遊具で遊んだりでき、子供から大人までが楽しく遊べる施設ができるよりよいと思います。

夏の暑さにも負けず楽しめる施設ができるよりよい町になると思います。

なぜなら車いすを使う人が少し不便な生活をしていると感じたからです。例えばスロープがなくて遠回りをしなければならなかったり、手すりがないと不便だったりすると、聞いたことがあります。私自身は車いすに乗るとい経験はありますが、いろいろな人が更に快適に過ごせることができる大河原町になることを願っています。

街がど
コソモント

大河原町のFacebookで紹介された様に、金ヶ瀬地区にはザクロの木が多いです。



6月には、まるでタコさんウィナーの様な花が咲きます。そして秋には、大きな実がパツカリと割れて真っ赤な果実が現れます。この様子が、頭が割れるのを連想させるとか、鬼子母神が人の子どもをさらって食べていたのので、仏様に子どもの代わりに人間の味がするザクロを食べなさいと諭されたという言い伝えがあり、縁起が悪いイメージがあります。実際には、甘酸っぱくて美味しいんですけどね。皮には、毒性があるので、歯で皮を剥くと中毒になる可能性があります。

編集後記

ようやく心地よい秋風が吹く頃となりました。広報委員会は改選後にメンバーも入れ替わり、新しい風を取り入れながら編集作業を行っております。今までの内容を大切にしつつも、改めるところは改める。これから新しい企画なども考案している最中です。今後とも町民の皆様により親しむ議会だよりにしたいです。

(佐藤 暁史)

編集発行責任者

議長 丸山 勝利

議会広報常任委員

委員長 中村 淳

副委員長 佐藤 暁史

委員 大沼 忠弘

委員 遠藤 勇一

委員 高屋 伸一

委員 今野 智志

12月議会のお知らせ

招集日 12月3日(水)・再開日 12月9日(火)

詳細は議会事務局まで ☎53-28000



今回の表紙は

今回は南小学校放課後子ども教室の稲刈り体験。5月に植えた小さな苗からは想像がつかないほど、稲はたわわに頭を垂れていました。低学年の子ども達は慣れない鎌に悪戦苦闘。高学年の子ども達は慣れた手つきでどんどん刈り取っていました。令和の米騒動も落ち着いてきました。今年も美味しい新米が食べられることに感謝です。

(佐藤 暁史)

町民の声

町に望むことをお聞きました。

＊プロフィール＊

お ば た み え こ
小畑美枝子 さん (末広区)
 大河原町出身

食の力でまちおこし

大河原生まれ
 大河原育ち
 だから感じる今

大河原で生まれ育ち、かつては長らく仙台で農業情報誌編集の仕事をしていました。現在は宮城の郷土料理伝承の拠点として惣菜店を営みながら、「みやぎの食を伝える会」4代目の代表としても食文化や食育に関わる活動を行っています。

大河原は交通の便が良く、官公庁の町として様々な行政手続きに都合の良いまちだと感じています。また、中核病院など医療環境が整っていることや、買い物などにもあまり苦労しなくても良い環境にあります。一方、小さな町とは言え高齢者や車を持たない場合の移

動手段が不便だと感じています。デマンドタクシーはありますが、町内に限られることなど使い勝手が良いとは言えません。移動範囲を隣接自治体まで拡大した広域デマンドや、巡回バスのような移動手段があっても良いのではと思います。

町の施設をもっと有効に

郷土料理の伝承活動として町の施設を利用して料理教室を行っています。中央公民館の食の開発室や、いきいきプラザの調理室を利用していますが使いにくく、改善の余地ありと感じることが多々あります。また、せっかくの設備なのですが、利用率がとても低いことです。例えばいきいきプラザは児童クラブ併設なので夏休み

などの昼食提供に利用することができないものかと思っています。

アンテナショップで農・商・工(高)をつなげる場に

大河原には産業高校があるので高校生たちと何か出来るのではないかと考えています。学校で育てた作物や町内の農家さんがそれぞれに育てた作物を学校や民間の加工業者さんで製品化して、パッケージのデザインを高校生が行い、それをアンテナショップで直接販売したり、ふるさと納税の返礼品にしたりする。理想とすれば駅前あたりにカフェが併設されているような、子どもから高齢者まで気軽に立ち寄って会話が楽しめるような、そしてまた情報発信の場になるような空間があれば

居心地の良いまちへ

食を通じてまちの元氣、活性化につながることを模索しながら日々を過ごしています。こうした活動を通してより居心地の良いまちになることを願っています。